

1933(昭和8)年 第19回 全國中等學校優勝野球大會

第七日 准決勝 第二試合

學校名	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六
明石中學	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中京商業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
0	0	0	0	0	0	0	0	1A			1

(球審:水上 壘審:濱井 富永 伊藤/開始=13:10 終了=18:05)

	打	得	安	三	四	犠	盗	失		打	得	安	三	四	犠	盗	失
明石中學	數	點	打	振	死球	打	壘	策	中京商業	數	點	打	振	死球	打	壘	策
8 山田	9	0	2	2	1	0	0	0	9 大野木	10	0	0	3	1	0	0	0
3 横内	8	0	2	0	2	0	0	1	5 福谷	9	0	0	1	1	0	0	0
9 楠本	9	0	0	1	1	0	0	0	1 吉田	8	0	1	1	2	0	0	0
1 中田	7	0	0	1	3	0	2	0	6 杉浦	8	0	1	0	0	2	2	0
5 松下	1	0	0	0	1	0	0	1	3 田中	8	0	1	3	2	0	0	0
5 永尾	7	0	1	3	1	0	1	2	4 神谷	10	0	0	2	0	0	0	0
4 嘉藤	9	0	0	3	1	0	0	1	7 岡田	7	0	0	0	0	0	0	0
7 田口	3	0	0	1	0	0	0	1	7 前田	2	1	0	0	1	0	0	0
7 深瀬	7	0	0	3	0	0	0	0	2 野口	9	0	3	0	1	0	0	0
2 福島	10	0	0	3	0	0	0	0	8 鬼頭	8	0	1	0	0	2	0	0
6 峰本	10	0	3	2	0	0	0	1									
計	80	0	8	19	10	0	3	7	計	79	1	7	10	8	4	2	0
【ベンチコーチ】高田								[残壘:15]	【ベンチコーチ】大鹿								[残壘:18]

本壘打
三壘打
二壘打

■第01回

山田 2[ストライク]-3[ボール]後 四球
横内のバントに二封[i]
横内 三壘前バント 一壘に生き
楠本の三壘右を襲う強匍も
三壘手の好守備に二封[ii]
※「匍」は、グラウンダー
地面を低く転がる打球

■第01回

大野木 高目の直球を振って三振[i]
福谷 投直[ii]
吉田 遊匍失に一壘に生き
杉浦の遊匍で封殺[iii]
杉浦 遊匍

■第02回

田中 三壘手前に一バウンドの

楠本 三壘右を襲う強匍 横内の二封の間に一壘に生き 捕逸に一擧
三壘を占めるも残壘

中田 四球で一壘に出で
二死走者三、一壘となるも残壘

松下 二壘匍[iii]

■第02回

嘉藤 吉田の緩球を三壘手
頭上に猛打したが
福谷に得られ[i]

田口 右飛[ii]

福島 三振[iii]

■第03回

峰本 三振[i]

山田 左飛[ii]

横内 四球に出で一壘に残壘

楠本 緩球を三壘手背後に
打ち揚げて退く[iii]

■第04回

中田 右飛[i]

松下 四球に出で一壘に残壘

嘉藤 三邪飛[ii]

田口 二壘手右を襲う直球は
神谷 飛び上りざま
よく掴む[iii]

(永尾 松下に代り三壘手となる)

■第05回

福島 投匍[i]

峰本 中前に最初の安打を放つて
出たが山田の二壘壘上を
抜けんとする匍球を神谷
よく捕へ二壘に迂り込んだ
峰本を封殺[ii]

山田 二壘壘上を抜けんとする
匍球に峰本が封殺される間に
一壘に生き残壘

横内 遊匍[iii]

■第06回

楠本 遊匍[i]

中田 遊匍[ii]

永尾 投匍[iii]

直球を放ち、三壘手の一壘
悪投(低投)を野手が後逸
する間に一擧 三進も残壘

神谷 インドロにかゝつて三振[i]

岡田 1-0後高目の球を強気に
打つて捕邪飛[ii]

野口 遊匍[iii]

■第03回

鬼頭 投飛[i]

大野木 三振[ii]

福谷 投匍[iii]

■第04回

吉田 三振[i]

杉浦 二匍[ii]

田中 四球 残壘

神谷 二匍[iii]

■第05回

岡田 左飛[i]

野口 中飛[ii]

鬼頭 二飛[iii]

■第06回

大野木 二匍[i]

福谷 遊匍[ii]

吉田 三匍失、杉浦の左飛落球
で吉田 三壘を占め

杉浦 左飛落球、二盗するも残壘

田中 カーヴを見逃し三振[iii]

■第07回

神谷 二匍[i]

岡田 投飛[ii]

野口 二飛[iii]

■第08回

鬼頭 一匍[i]

大野木 四球を選んで出たが福谷の
遊撃手左上を襲う直球は
遊撃手峰本逆モーションで
これを捕へ、大野木を一壘
に重殺する[iii]

福谷 遊撃手左上を襲う直球[ii]

■第09回

吉田 三遊間に内野安打し、

■第07回

嘉藤 投手グラブをはぢく
強匍を送つたが
吉田 素早く拾つて
一壘に刺す[i]

田口 三振[ii]

福島 一匍[iii]

(深瀬 田口に代り左翼手となる)

■第08回

峰本 三匍[i]

山田 遊匍[ii]

横内 遊匍[iii]

■第09回

楠本 捕邪飛[i]

中田 四球に浴し永尾三振のとき
二盗 嘉藤三振で残壘

永尾 三振[ii]

嘉藤 三振[iii]

■第10回

深瀬 一邪飛[i]

福島 右飛[ii]

峰本 遊匍[iii]

■第11回

山田 二壘前へ内野安打し
横内の投前バントに
山田 二壘に封殺[i]

横内 投前バントに山田 二壘
に封殺される間に一壘
に生き楠本の三匍に
二壘で封殺[ii]

楠本 三匍で横内が二壘
に封殺される間に一壘
に生き中田の二匍に
二壘で封殺[iii]

中田 二匍 楠本が二壘で
封殺

■第12回

永尾 三直[i]

嘉藤 三匍[ii]

深瀬 遊匍[iii]

■第13回

杉浦の三壘前 好バントを
永尾 拾い損ねて両者を
生かした上 二壘走者 吉田
の離壘を見てこれを刺さん
と悪投し 無死 三、二壘
さらに田中 故意の四球で
満壘、明石 危機に面したが
神谷 投直し三壘を飛出した
吉田を重殺[ii]

杉浦 三前バントを永尾 拾い損ね
て両者を生かした上
二壘走者の離壘を見て
これを刺さんと悪投し無死
三、二壘となるが二壘残壘
故意四球、一壘残壘
田中 必死の投球も神谷に
神谷 二ボールを出していよいよ
影薄く見えたが、敢然
プレートを中心に投込んで
1[ストライク]-2[ボール]に回復し
更に押し冠せての直球、
神谷 待ち構へて痛撃した。
が、投直[i]

岡田 三匍[iii]
明石の危機 瞬間に去つて
中京 好機を逸す

■第10回

野口 二飛[i]

鬼頭 二匍 一壘手の落球に
生きたが、大野木の遊匍で
二、一壘に重殺[ii]

大野木 遊匍で二、一壘に重殺[iii]

■第11回

福谷 左飛[i]

吉田 中飛[ii]

杉浦 三匍[iii]

■第12回

田中 三匍[i]

神谷 遊匍[ii]

岡田 二匍[iii]

■第13回

福島 投匍[i]
峰本 二壘手 左を抜く安打を
放つも一壘に残壘
山田 三振[ii]
横内 一飛[iii]

■第14回

楠本 遊飛[i]
中田 左飛[ii]
永尾 遊撃越に安打を放ち
投手の暴投で二進し
嘉藤2-3ののちに
四球を得たとき永尾
三壘を盗んだが三壘を
オーバースライドし
本三壘間に挟殺さる[iii]
嘉藤 四球 残壘

■第15回

深瀬 遊匍[i]
福島 三振[ii]
峰本 三遊間に三度目の安打を
送る、山田の一壘手左を
襲う匍球に二進、
横内の四球に三進も残壘
山田 一壘手左を襲う匍球は
二壘手 拾ひに歸つた
一壘手に送つて間に
合はず これも内野安打
となる、横内の四球に二進
二壘残壘
横内 ストレートの四球を得て
二死満壘も一壘に残壘
楠本 吉田 楠本を2-2に攻めた
後、高目の直球を真ン中に
通しこれを三振に討取り
危機を脱す[iii]

■第16回

中田 遊飛[i]
永尾 三振[ii]
嘉藤 三振[iii]

■第17回

深瀬 三振[i]

野口 二匍[i]
鬼頭 二匍[ii]
大野木 三振[iii]

■第14回

福谷 捕邪飛[i]
吉田 中飛[ii]
杉浦 中飛[iii]

■第15回

田中 二匍[i]
神谷 二匍[ii]
岡田 遊匍[iii]

■第16回

野口 四球を選ぶも 鬼頭の
バントに一壘に重殺[ii]
鬼頭 第一球をバントすれば
投手飛球となり[i]
野口を一壘に重殺
大野木 一邪飛[iii]

■第17回

福谷 投飛[i]
吉田 四球に出で、杉浦の
遊匍で封殺[ii]
杉浦 遊匍に吉田が封殺され
一壘に生き 田中の中堅へ
の安打で二進するも残壘
田中 中堅に安打を放ち 中京
二本目の安打も残壘
神谷 中飛[iii]

■第18回

岡田 三匍[i]
野口 中飛[ii]
鬼頭 投匍[iii]

■第19回

大野木 右飛[i]
福谷 ストレートの四球を得
吉田の三匍で封殺[ii]
吉田 三匍 福谷が封殺の間に
一壘に生き残壘
杉浦 右飛に退く[iii]

(前田 岡田に代り左翼手となる)

■第20回

福島 一匍[ii]

峰本 中飛[iii]

■第18回

山田 二匍[i]

横内 三匍[ii]

楠本 四球 一壘残壘

中田 三振[iii]

■第19回

永尾 三振[i]

嘉藤 左中間飛球は

岡田 横走して捕へ[ii]

深瀬 三振[iii]

■第20回

福島 二匍[i]

峰本 三匍[ii]

山田 三振[iii]

■第21回

横内 一壘手前に高く跳ね上る

強匍を送つて安打となり

投手 暴投で二壘を占め

楠本 一壘側にバントすれば

吉田 素早く三壘に送球し

横内を刺す[i]

楠本 一壘側にバントし

横内刺される間に一壘

中田の遊匍で二壘に

封殺[ii]

中田 遊匍 楠本が二壘に封殺

される間に一壘に生き

打者 永尾のときデイレイド・

スチールなつたが残壘

永尾 二匍[iii]

■第22回

嘉藤 遊飛[i]

深瀬 右飛[ii]

福島 三振[iii]

■第23回

峰本 三振[i]

山田 右飛[ii]

横内 投手頭上を一バウンドで

越す内野安打を送つて

田中 三振[i]

神谷 三振[ii]

前田 三匍[iii]

■第21回

野口 右前に安打を送り

鬼頭の投手バントで

二壘を占め

大野木の二匍で三進

したが残壘

鬼頭 投手バント[i]

大野木 二匍[ii]

福谷 三匍[iii]

■第22回

吉田 捕邪飛[i]

杉浦 左前に安打し、二盗のとき

捕手の二壘 悪投球を

二壘手 後逸するに乘じ

一擧 三進を企て中堅手の

後衛で三壘に刺さる[ii]

田中 三振[iii]

■第23回

神谷 遊匍は遊撃手 腰を折つて

倒れたが倒れながら一壘に

投球して退け[i]

前田 三匍[ii]

野口 二壘左に内野安打を放つ、

鬼頭の一、二壘間を抜く

安打に二進し、

大野木の三匍を野手

三壘に持歸らんと走者と

ともに走つて遅れ野選と

なり、三進も三壘に残壘

鬼頭 一、二壘間を抜く安打し、

大野木の三匍に二進

二壘に残壘

大野木 三匍が野選となり一壘に生き

二死満壘となるが一壘残壘

福谷 0-1から1-2、2-2と

なつたのち低目の曲球を

空振り三振[iii]

明石 危ふく危機を脱す

出たが二盗ならず[iii]

■第24回

楠本 遊匍[i]
中田 ストレートの四球を選び
永尾の四球に二進も
投手の牽制球にかゝつて
[ii]
永尾 ストレートの四球を選び
しも一壘に残壘
嘉藤 三振[iii]

■第25回

深瀬 三振[i]
福島 一匍[ii]
峰本 二飛[iii]

■第24回

吉田 死球を喫して出で、
杉浦の投手バントで二進、
田中の遊匍で三壘を占め
たが残壘
杉浦 投手バント[i]
田中 遊匍[ii]
神谷 遊匍[iii]

■第25回

前田 1-3から四球を選び、
野口の三前バントに二進、
鬼頭の投前バントも投手
三壘に送つて間に合はず
野選となり無死満壘
明石 絶體絶命の危機に
立ち大野木の二匍を野手
本壘に送つたが送球やゝ
高く悪投となり捕手
飛上つてこれを捕へる間に
本壘に生還[得点1]
野口 三前バントは投手、三壘手
球の處置を譲り合つて
安打とし、
鬼頭 投前バントも投手 三壘に
送つて間に合はず野選と
なり
大野木 2[ストライク]-1[ボール]から
の二匍を野手 本壘に送つた
が送球やゝ高く悪投となり
捕手 飛上つてこれを捕へる
間に前田を本壘に生かし
延長二十五回にわたる
大接戦も 1A 對 0 で
中京の勝となつた、
終了 六時五分

試合評 飛田 穂洲[抜粹]

試合は投手力が餘りに優秀であつたため打力それに伴はず、自然得點することが出来なかつた
安打 明石に八、中京に七 四球は吉田十、中田八といふ少數は投手の異常さを窺ふに足るべく
絢爛たる投手戦であつた。この歴史的試合を眺めて只感嘆の聲を放つのみ多くを語り得ない。
よろこびに浸つたファンとともに心から選手に感謝したい。

「大阪朝日新聞」1933(昭和08)年08月20日付

発行 2012年05月11日

著者 弘田 正典